

俺は、誰の奴隷だ？



監督・主演 岩淵弘樹
プロデューサー 土屋 豊 アドバイザー 兩宮処凜
挿入曲 豊田道倫「東京ファッカーズ」
エンディング曲 曾我部恵一「WINDY」
メインヴィジュアル・イラスト 真鍋昌平（「間金ウシジャクン」）
製作 W-TV OFFICE 配給 バイオタイド
（日本 / 2007 / 日本語 / カラー / DVcam / 67分）

遭難
パーティー

◎山形国際ドキュメンタリー映画祭2007 ニュードックスジャパン招待作品
◎香港国際映画祭招待作品
◎レインダンス映画祭（ロンドン）招待作品

www.souan.info

格差社会、ワーキングプア、年収200万円以下が1000万人を突破…。
 いろいろ言われるが、「負け組」であり、「ワーキングプア」道まっただ中を
 突き進むぶっちは叫ぶ。うるせえ！俺はただ生きてる！
 その通り、ぶっちは逞しく生きている。でも、やっぱり貧乏。
 この映画は、そんな若者からの切実な「叫び」だ。

遭難フリーター応援隊長
雨宮処凛

生きることに遭難した彼の出口は、 何処かにあるのか？

岩淵弘樹・23歳。平日は製造派遣大手の日研総業からキャンの
 の工場に派遣され、時給1250円での単純労働、週末は憧れの
 東京でフルキャストの日雇い派遣。不安定な労働環境から抜け
 出せない彼は、フリーターの権利を求めるデモに参加し、マスメ
 ディアの取材を受ける。しかし、テレビ画面に映し出されたのは、た
 だただ「不幸で貧しい若者」でしかなかった——。
 大手レコード会社に就職した友人に自己責任論調の説教を受け、
 居酒屋でおっちゃんに「あなたは奴隷なんだよ!」と罵られる。
 「俺は誰に負けた?俺は誰の奴隷だ?」
 岩淵は、拾った自転車で夜の東京を疾走する。

いま、一番リアルな青春映画

岩淵が日記のように回し続けるビデオカメラに映し出されるのは、フリー
 ターとして暮らす彼自身のセキララな生活だけではない。その裏にある、
 現代日本の社会・経済構造が生み出した現実と、マスメディアが図式化
 する「問題」とのズレ、そしてそれらに振り回される当事者の思いをとき
 にコミカルに、ときにパンキッシュにあぶりだしていく。「こんな生活に
 出口はあるのか?」そうボヤきながら、生きづらい青春を不器用に走ろうと
 する一人の若者の姿を生々しく描き出す、東京を彷徨いながら
 綴られた遭難デイズ。それは、いま、
 一番リアルな青春映画だ!!

変化と刺激を求めて、選んだのか選ばされたのかわからない中、
 正規にもなれず非正規にもなりきれず、
 でもなんだかかわからない何かがありそうな気がして、
 出会い損ねを重ねながら、何かがつきれる「そのとき」が
 やってくるまで焦り続ける…。
 若年ワーキングプアと騒ぎ騒がれ、掃り掃られ、弄り弄ばれ、
 時代を追っかけながら自分が今どこにいるのかがよくわからない…。
 そんなふつ々の若者たちのふつ々の日常を撮った、
 稀有なドキュメンタリーと思います。

反貧困ネットワーク事務局長 **湯浅 誠**

先の見えない製造現場での派遣の働き方。そのなかでもがく主人公。
 「オレは生きたいんだ!」という叫びが現実を変える。
 労働者派遣法の抜本改正など法律を変えよう!

派遣労働者自身が描いた凄まじい映画である。
 正社員たちとはコミュニケーション、ゼロ。
 マスメディアの好奇心、あるいは同情ゆえの取材を笑い飛ばす。
 彼らが、体制を震撼させる怒りの塊として爆発しないのが
 不思議なくらいである。

ジャーナリスト **田原総一郎**

社民党党首 **福島みずほ**

素人の乱 **松本 哉**



監督・主演 岩淵弘樹 プロデューサー 土屋 豊 アドバイザー 雨宮処凛
 挿入曲 豊田道倫「東京フッカーズ」 エンディング曲 菅我部恵一「WINDY」 メインビジュアルイラスト 真鍋昌平(「開会ウシジマくん」)
 製作 W-TV OFFICE 配給 バイオタイド (日本・2007/日本語・カラー/DVcam/67分)

©2008.Manabe Shohei ©2007.W-TV OFFICE

2009.2月 ユーロスペースにて
 モーニング&レイトショーほか全国順次漂流!
 特別鑑賞券 ¥1200 (税込) 当日一般 ¥1400 / 学生 ¥1300 (税込)
 ©劇場窓口にてお買い求めの方に、オリジナルポストカードをプレゼント。

渋谷・文化村前交差点左折

ユーロスペース

EUROSPACE

03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

